

修学旅行等における横浜グリーンエキスポ（２０２７年国際園芸博覧会）の活用と教育旅行説明会について、周知します。

8 受文科初第 34 号

令和 8 年 8 月 10 日

各都道府県教育委員会教育長
各指定都市教育委員会教育長
各 都 道 府 県 知 事
附属学校を置く各国公立大学法人学長 殿
小中高等学校を設置する学校設置会社を
所轄する構造改革特別区域法第 12 条第
1 項の認定を受けた各地方公共団体の長

文部科学省初等中等教育局長

茂 里 毅

修学旅行等における横浜グリーンエキスポ（２０２７年国際園芸博覧会）の活用について
及び

２０２７年国際園芸博覧会第 2 回教育旅行説明会の開催について（周知）

２０２７年 3 月 19 日から 9 月 26 日にかけて、神奈川県横浜市において 2027 年国際園芸博覧会（以下「横浜グリーンエキスポ」という。）が開催されることとなっており、今般、国土交通省都市局及び農林水産省農産局から、別紙のとおり依頼がありました。

以上のことにつきまして、地方公共団体等におかれましては、次頁に掲げる表のとおり周知をお願いいたします。

その際、学校における働き方改革の観点から、周知の範囲及び方法については、全ての学校に一律に通知する以外にも、例えば、他の案件とまとめて周知する等、必要に応じて御判断いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、「修学旅行等における横浜グリーンエキスポ（２０２７年国際園芸博覧会）の活用」について御質問等がある場合は、別紙記載の国土交通省都市局または農林水産省農産局へお問合せいただくようお願いいたします。

（別紙）修学旅行等における横浜グリーンエキスポ（２０２７年国際園芸博覧会）の活用について（依頼）及び 2027 年国際園芸博覧会第 2 回教育旅行説明会の開催について（周知）（国土交通省都市局長及び農林水産省農産局長通知）

(本件関連通知)

- ・修学旅行等における 2027 年国際園芸博覧会 (GREEN×EXPO 2027) の活用について
(令和 6 年 11 月 8 日付け 6 受文科初第 44 号 初等中等教育局長通知)

周知元	周知先
各都道府県・指定都市教育委員会教育長	所管の学校及び各学校を設置する域内の市区町村教育委員会
各都道府県知事	所轄の学校法人
附属学校を置く各国公立大学法入学長	管下の附属学校
構造改革特別区域法第 12 条第 1 項の認定を受けた各地方公共団体の長	認可した学校

<本件担当>

(本通知全体及び修学旅行について)

文部科学省初等中等教育局児童生徒課

T E L 03-5253-4111 (内線 2389)

(修学旅行以外の校外学習について)

文部科学省初等中等教育局教育課程課

T E L 03-5253-4111 (内線 2565)

国 都 参 第 17 号
8 農 産 第 2015 号
令和 8 年 8 月 4 日

文部科学省
初等中等教育局長 殿

国土交通省 都市局長（公印省略）
農林水産省 農産局長（公印省略）

修学旅行等における横浜グリーンエキスポ（2027年国際園芸博覧会）の活用について（依頼）
及び

2027年国際園芸博覧会第2回教育旅行説明会の開催について（周知）

2027年3月19日から9月26日にかけて、神奈川県横浜市で2027年国際園芸博覧会（以下「横浜グリーンエキスポ」という。）が開催されます。首都圏では42年ぶり、1都3県では初の万博であり、花や緑、エンターテインメント、食の魅力等に加えて、日本らしい文化・ライフスタイルや、我が国の強みであるグリーン技術を発信し、みんなが「楽しめる万博」を目指し準備を進めております。

また、将来の予測が困難な次世代を生きる子どもたちが、誰もが叶えたいと願う「幸せを創る明日の風景」をリアルに五感で体感することで、地球規模の課題を自分事として捉え、自ら考える力や創造力を育み、新たな価値観や行動変容をもたらすきっかけとなることを目指しており、修学旅行等（修学旅行、遠足、社会科の見学、移動教室などの校外で行う活動をいう。以下同じ。）の団体受入れに向けた環境整備も進められております。

これまで、「教育旅行等における2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）の活用について（依頼）」（令和6年11月6日付け国都参第25号・6農産第2926号）において、横浜グリーンエキスポに関する情報等をお知らせするとともに、旅行代理店等にも別途情報提供をしているところであり、詳細については旅行代理店等を通じて確認いただくことも可能ですが、今般、修学旅行等における横浜グリーンエキスポの活用について、各学校等における御検討に一層資するよう、関係する情報等を別添のとおり取りまとめましたので、各都道府県教育委員会教育長等を通じ、所管及び域内の市町村管下の学校等に提供していただきたく、格段の御配慮をお願いいたします。

なお、教育関係者・旅行関係者向けに、8月下旬から9月上旬を目途に、「第2回教育旅行説明会」のオンラインでの実施を予定しております。2027年国際園芸博覧会協会ホームページの新着情報をご覧くださいよう、各都道府県教育委員会教育長等を通じ、所管及び域内の市町村管下の学校等にお伝えいただけますと幸いです。

あわせて、神奈川県や横浜市のように子どもの無料招待を予定している事例もございます。各都道府県等において同様の取組を行っている場合には、そういった取組についても、各都道府県教育委員会教育長等を通じ、所管及び域内の市町村管下の学校等に提供いただきますよう、御配慮をお願いいたします。

(別添資料)

- 1 国際園芸博覧会の準備状況について
- 2 修学旅行等の受入れについて
- 3 事前学習プログラムのご案内
- 4 2027年国際園芸博覧会第2回教育旅行説明会の開催について
- 5 2027年国際園芸博覧会コンセプトブック

【担当】

国土交通省都市局

(横浜グリーンエクスポ全般について)

都市環境課 丹下、伊藤、湯井

Tel. 03-5253-8134

(本通達の内容について)

都市計画課 平井、三浦、藤木、齋藤

Tel. 03-5253-8409

農林水産省農産局

園芸作物課 鈴木、水口

Tel. 03-6738-6162

国際園芸博覧会の準備状況について

2027年（令和9）年3月19日（金）の開幕まで1年をきった国際園芸博覧会の会場では、各種パビリオンや会場整備が進んでいます。最新の情報は公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会（以下「博覧会協会」といいます。）の公式ホームページ（<https://expo2027yokohama.or.jp/>）でご覧いただけます。



○海外パビリオン

70か国と5つの国際機関が公式参加を表明し、博覧会協会との参加契約の締結やコンセプトの発表など取組が進められています。（下記は一例です。）



◆タイ

テーマ：「自然との協働」

- ・建物と展示のデザインは、タイの伝統絵画に着想を得て、自然の循環と重ね合わせて語られる「花」を軸に表現。

○主催等展示施設

園芸博の楽しみ方はパビリオン見学だけではありません。会場では最新技術のほか、伝統的な園芸文化を感じていただくことができます。

◆テーマ館

植物の知られざる能力や、生命同士の複雑で巧妙なつながりについて、植物がどのような方法で他の生きものとコミュニケーションをとっているのかを映像を交えながら紹介するなど、最新の科学的な知見・研究成果をベースに、アート&エンターテインメントを掛け合わせた展示にて体験いただけます。



土中の世界（陸前高田市の奇跡の一本松など）



生きものたちの見えないメッセージの可視化

◆園芸文化館

江戸時代から受け継がれてきた伝統園芸植物や盆栽など、日本独自の園芸の美意識と技術を、実物や体験を通して伝えます。また、世界に先駆け園芸が産業化した江戸時代の植木屋「花屋敷」の世界を再現し、暮らしの中に息づいてきた日本の文化を体験いただけます。



伝統園芸植物や盆栽が集結



江戸時代の植木屋の世界の再現

◆日本政府苑

宮内庁所蔵の盆栽など自然との対話が昇華した文化や、3D フードプリンターやロボット農機の実演など地球規模の課題を解決する新技術を体験いただけます。



宮内庁所蔵の盆栽展示



3D フードプリンター



ロボット農機の実験・実演

○民間パビリオン

12の Village 出展、4のテーマ営業出店の民間企業・団体のパビリオンが会場を彩ります。様々なデザインの建物、庭園、広場等の整備が始まっています。(下記は一例です。)



◆相鉄グループ

名称：SOTETSU PARK

- 子どもたちが自然と親しみ、遊びながら学べるエリア「SOTETSU PARK」は、“未来”の象徴となる鉄道車両を中心にして街と人と生きものが共生する未来を表現します。

◆清水建設株式会社

名称：シミズ森のまち

- 『シミズ森のまち』は、「見て、触れて、つくる」を通じ、みんなで地球環境について学び合う、子どもたちが主役の体験の場です。



◆東邦レオ株式会社

名称：やさしくなりたい。STUDIO

- ・大阪・関西万博パナソニックグループパビリオン「ノモの国」をリユースします。



◆大和ハウスグループ

名称：大和ハウスグループ エントレスハートパーク

- ・風・太陽・水と緑が織りなす万華鏡のような重なりと変化が表す未来の景色を、ぜひご体感ください。



◆鹿島建設株式会社

名称：KAJIMA TREE

- ・大阪・関西万博の大屋根リングの木材が、先端技術により新たな命を吹き込まれ、GREEN×EXPO のシンボルとして生まれ変わります。



◆明治グループ

名称：ORAGA VILLAGE 未来のふるさと

- ・未来のふるさとが、ここにある。
自然の恵みを楽しんで成り立つ明治グループの取組の原点、里山を見に来てみませんか？

○自治体等の出展

自治体をはじめとする花と緑のプロフェッショナルによる庭園や花壇、生け花やフラワーアレンジメントなどが会場を彩ります。屋外出展、屋内出展あわせて390者が、期間中展示を入れ替えて出展します。

◆神奈川県・横浜市



神奈川県出展



横浜市出展

修学旅行等の受入れについて

修学旅行等の受入れに当たり、公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会（以下「博覧会協会」といいます。）が下記のとおり学校団体のための特別対応を準備しています。修学旅行等の検討に当たり参考にしてください。

○学校団体用の特別割引料金を設定

2027 年国際園芸博覧会（以下「GREEN×EXPO 2027」という。）では、未来を担うこどもたちにより多く来場していただけるよう、学校団体割引券を通常の料金に比べ非常に安価に設定しています。

- ・園児、小学生、中学生：900 円
- ・高校生：1,700 円

※学校長から申請があった学校団体であれば人数に関わらず上記料金が適用されます。

※同行教職員、添乗員、看護師は生徒、児童、園児等の人数に関係なく無料です。ただし、協会が該当性を審査する場合があります。

（参考）会期中に入場券を購入する場合の通常の価格設定は以下の通りです。

- ・大人（2027 年 4 月 1 日時点で満 18 歳以上の方）：5,500 円
- ・中人（2027 年 4 月 1 日時点で満 12 歳以上 17 歳以下の方）：3,300 円
- ・小人（2027 年 4 月 1 日時点で満 4 歳以上 11 歳以下の方）：1,500 円
- （・2027 年 4 月 1 日時点で 3 歳以下の方：無料）

○修学旅行等受入れに関する情報

1) 会場へのアクセスについて

- ・貸し切りバスでの来場以外にも、鉄道駅からシャトルバスを利用した来場が可能です。
- ・横浜駅からは貸し切りバスで約 40 分、東京地区や羽田空港周辺に宿泊する学校も 1 時間程度でアクセスが可能です。

2) 来場日予約・乗降場予約について

- ・修学旅行等の団体入場については、団体仮予約を開始しています。
- ・来場日時や貸切バスの乗降場および待機場の予約を受け付けています。
- ・入場チケットは旅行会社等の協会公式販売事業者を通じて博覧会協会に申し込んでください。

3) 入場方法について

- ・学校団体チケット利用の児童生徒の皆様にはチケット ID が付与され、中学生以下に限られますが、臨時ゲートから一斉に入場も可能です。高校生については一般ゲートにお並びいただいたうえで QR コードでご入場いただく形となります。(紙への印刷も可能です。)

4) 集合場所について

- ・団体集合場所はございませんが、上記の一斉入場を希望される学校団体については専用の待機列に誘導する予定です。

5) 食事場所・方法について

- ・予約制の団体食事スペースを設置します。(中学生以下限定の予定)
- ・学校団体は弁当の持ち込みが可能です。マイボトル・水筒・ペットボトルの持ち込みも可能です。
- ・会場内に入って、所定の手続きに則り事前に手配した弁当の受け取りを可能とするサービスを検討中であり、手配方法については別途公表予定です。
- ・会場内のレストラン、飲食施設、コンビニ等については随時公表いたします。

6) 予約可能施設予約について

- ・同博覧会では、屋外庭園や修景花壇などの広大な空間を活用し、施設予約を必要としない多様な楽しみ方や体験を提供する予定です。

一方で、一部の施設については、混雑緩和および安全確保の観点から、当日のみ利用可能な簡易な予約制を導入する予定です。現在、各出展者において、予約制導入の可否や、導入する場合の運用方法について検討が進められており、団体予約枠の設定についても含めて検討中です。

7) 休憩場所について

- ・学校団体専用の休憩場所はございませんが、木陰そのものの活用や、樹木と一体となった日除けの設置 シェード等による休憩空間を確保してまいります。

学校団体の受入れ及び下見については、博覧会協会公式ホームページ内「教育旅行」(<https://expo2027yokohama.or.jp/sponsorship/education/>)などで最新情報を随時公開いたします。



【問い合わせ先】

○博覧会、事前学習などに関するお問い合わせ

(公社) 2027年国際園芸博覧会協会 (GREEN×EXPO 協会)

入場券部 教育旅行担当 kyoiku@expo2027yokohama.or.jp

○チケット、各種予約方法などに関するお問い合わせ

GREEN×EXPO 2027 入場券販売管理センター

ticket-info2@2027tkc.com

事前学習プログラムのご案内

～修学旅行等の事前学習としてご活用ください～

GREEN×EXPO2027に向けて、次代を担う子供たちが、花や緑、環境、食、農、まちづくりなどのテーマについて学ぶことができる、小・中学生向けの事前学習プログラムを公開しています。本プログラムは、教師用手引き、授業台本（サンプル）、授業スライド等で構成されております。

GREEN×EXPO 2027 デジタル×探究教材

小学校＆中学校で
今すぐ使える事前学習！

GREEN×EXPO 2027
のテーマ
幸せを創る明日の風景
Scenery of the Future for Happiness
を学校で学んでみませんか？

学習教材のコンセプト

- 1 テクノロジーを有効活用したデジタル探究教材
- 2 3D体験を通して課題を自分事化できる内容
- 3 学ぶことで、国際園芸博覧会や自然に興味関心が湧いてくる

教材① Nature-based Solutions (自然を活用した解決策)

自然を守ることが社会課題の解決につながり、私たちの暮らしを守ることにもつながることを「NbS」と言います。電気がなくても植物の力で発電する「ボタニカルライト」を事例に、植物の不思議と未来への可能性を感じることができる内容です。

想定される授業科目
総合的な学習の時間・理科・社会

教材② 緑のチカラ (バイオフィリックデザイン)

オフィスなど屋内に緑を取り入れる「バイオフィリックデザイン」が注目されています。植物や水・自然音を取り入れた環境では「幸福感や生産性・創造性が約15%高まる」という調査結果も。自然が持つ「人を癒すチカラ」について学ぶことができる内容です。

想定される授業科目
総合的な学習の時間・家庭科・理科・社会

教材の特徴

- 01 子どものためのワクワクドキドキ！
- 02 教員負担の少ない授業実施！
- 03 一人一台端末を利用した学び！

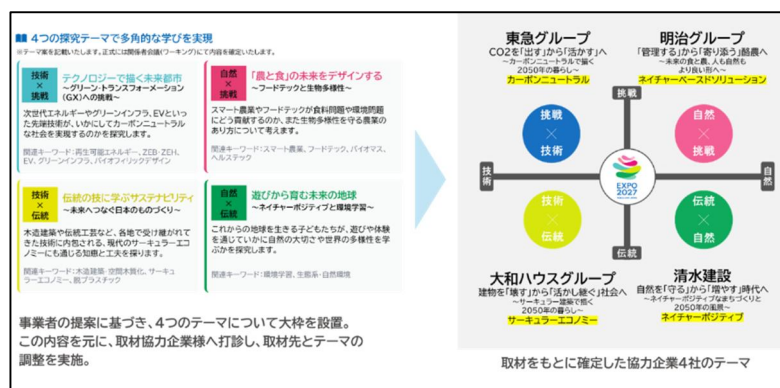
授業実施に必要な「手引き」「授業スライド」「教材ワークシート」をご用意しています。インターネット環境があれば、すぐに授業実施が可能です。

授業に必要なもの

- ・1人一台端末(タブレットやパソコン)
- ・インターネット環境
- 教材はデータでお渡しします
- 無料でご利用いただけます

【ご不明な点がある場合はこちら】
国際園芸博覧会協会 メール:kyoiku@expo2027yokohama.or.jp

また、高校生向けの事前学習プログラムは8月中に公開する予定です。



修学旅行等の事前学習として、GREEN×EXPO2027 や SDGs について学ぶ機会として、ぜひご活用ください。詳細は以下ウェブサイトからご覧いただけます。

【教育旅行トップページ】

<https://expo2027yokohama.or.jp/sponsorship/education/>

【小・中学生向け事前学習プログラムダウンロードページ】

<https://expo2027yokohama.or.jp/news/detail/000335.html>



2027年国際園芸博覧会
第2回教育旅行説明会の開催概要について

1.配信日時:

本説明会はGREEN×EXPO協会のHP上にてお申し込みをいただいた方に、事前に収録した録画映像を掲載したURL、説明資料、質問フォームをお送りする形を想定しております。

申込開始日時:2026年8月下旬より開始
公開日時:2026年8月下旬～9月上旬より公表
※申込・公開は上記日程以降も継続いたします。

2.開催方法:

YouTubeを用いた録画動画配信を予定
※視聴URL 等の情報は、申込のあった方々に、追って直接送付します。

3.対 象:

- ・修学旅行・校外学習をご検討されている各学校の担当教員等
- ・各都道府県・市区町村教育委員会、私立学校所管部局職員等
- ・附属学校を置く各国立大学法人の担当者等
- ・GREEN×EXPO 2027への教育旅行のご提案を検討されている旅行会社等

4.申込方法:

① 下記の参加申込みURL にアクセスし、申込フォームに、団体代表者GREEN×EXPO協会からの連絡を受け取る方)の氏名、所属、所属先所在都道府県名、役職、メールアドレス、電話番号等の必要事項を記入

URL: (<https://expo2027yokohama.or.jp/news/>)

※8月下旬に「新着情報」に掲載予定



※録画動画配信のため締め切りはございません

② 申込み後、GREEN×EXPO協会より、説明会動画配信開始後に、申込フォームで入力頂いたメールアドレスに動画のURL等を送付

5.次 第:

現時点の想定になりますが以下の構成案を予定しております。

0. 今回の説明会でお伝えしたいこと
1. 国際園芸博覧会について
2. GREEN×EXPO 2027 開催概要
3. 開催地・アクセス
4. GREEN×EXPO 2027の魅力と教育旅行での学び
5. 教育旅行の計画・予約手続き
6. 来場当日の過ごし方
7. 安全・安心への取組
8. 下見・事前準備支援
9. 今後のスケジュール・問い合わせ先

※録画動画のため、質疑応答等は動画URL、説明資料と合わせて配布する質問フォームにてお受けいたします。



2027年国際園芸博覧会



GREEN
×
EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

次世代を担う子どもたちと一緒に
地球の未来を見にいきませんか？

お問い合わせ

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 教育旅行担当 ✉ kyoiku@expo2027yokohama.or.jp

改定日：2025年5月

「国際園芸博覧会」とは？

園芸博覧会って聞くと
どんなイメージを持ちますか？



実は、さらにすごい体験が！

**地球環境をよくするための最先端の技術や
世界中の花・緑・食が集まる国際的なイベントです！**

国際園芸博覧会は、世界各国の園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や世界的問題の解決支援を目的に開催される国際的な博覧会です。博覧会には毎回テーマが定められており、そのテーマに合わせた展示や催し物を開催。さらに、世界各国から出展・人が集まるため、来場者はさまざまな国の文化にも触れ合うことができます。そんな国際園芸博覧会が、横浜市で開催されるのです。今回横浜で開催される国際園芸博覧会は、「自然」「環境にやさしい」という「GREEN」と博覧会の「EXPO」を掛け合わせ、「GREEN×EXPO 2027」としています。



来場者とともに描く “幸せを創る明日の風景”

Scenery of the Future for Happiness

GREEN×EXPO 2027は、地球温暖化、生物多様性の損失、自然災害、感染症、食糧危機など、プラネタリー・バウンダリー（地球の限界）に直面した私たちが、Nature-based Solutions（＝自然を活用した解決策）という考え方により、自然や植物への理解を深め、共生しながら「幸せを創る明日の風景」を描く国際園芸博覧会です。

社会環境がめまぐるしく変化していくなか、今後の展望を見据えたとき、現時点で予測される社会の課題や変化に対応して人材を育成するという視点と、予測できない未来に向けて自らが社会を創り出していくという視点の双方が必要となります。そのためには、地球規模の課題に自ら関わる問題として主体的に捉え、解決に向けて自分で考え、行動する力を育んでいくことが求められます。

GREEN×EXPO 2027は、将来の予測が困難な時代を生きる子どもたちが、誰もが叶えたいと願う「幸せを創る明日の風景」をリアルに五感で体験することで、地球規模の課題を自分事として捉え、自ら考える力や創造力を育み、新たな価値観や行動変容をもたらすきっかけとなることを目指します。

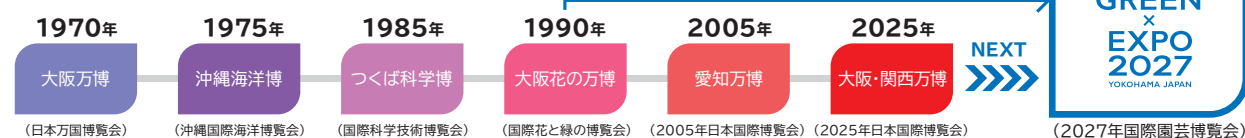


国際園芸博覧会の歴史

HISTORY

国際園芸博覧会のはじまりは、19世紀に欧州で発展した園芸展示会。1948年に欧州を中心とした民間の園芸関係団体によりAIPH（国際園芸家協会）が設立され、1960年にオランダ・ロッテルダムにて初の国際園芸博覧会が開催されました。当初は欧州を中心に開催されていましたが、1990年にアジア初の開催地として日本が選ばれ、「大阪花の万博」が開催。日本での開催は今回の横浜国際園芸博覧会で37年ぶりとなります。さらに「大阪花の万博」同様にBIE（博覧会国際事務局）の承認を受けており、EXPO（万博）の名を冠して開催されます。

【日本における万博の歴史】



▲詳しくはこちら



▲本博覧会に関する動画はこちら



国際園芸博覧会で学べる
「3つの探究」を紹介します！

GREEN×EXPO 2027の世界

探究①「環境問題の解決策を学べる」

グリーントランスフォーメーション(GX) による未来社会を体感！

これからのカーボンニュートラル(温室効果ガスの排出を全体でゼロにすること)を目指し、自然の力を活かした取り組みを進め、経済や社会を変革していくことを、グリーントランスフォーメーション(GX)といいます。自然資源を活かして再生可能なエネルギー利用を行ったり、自然界の仕組みを真似ることで革新的な技術開発を実現する取り組みが、世界中で進められています。

この最先端の取り組みが集まり、カーボンニュートラルを実現する未来を、この会場で体感できます。



探究②「自然と世界を学べる」

世界中の農と食、美しい花と緑、 様々な文化と出会い、 自然と世界の多様性を知る！

世界には様々な気候や地形があり、その上で多種多様な植物が生きており、各国の人々は、長い歴史の中で自然と関わり合いながら、それぞれの文化を育んできました。生きる源である農や食、暮らしを彩る花や緑、自然と共生する文化は世界様々で、それぞれの魅力があります。世界中の農・食・花・緑・文化が集まる国際園芸博覧会は、自然と世界の多様性(ダイバーシティ)を五感で体験し学べる絶好の機会です。

※2024年3月現在の予定。今後の調整状況により変更になる可能性があります。

知っているようで知らない植物の世界 普段は見えない植物の真の姿を探る！

普段何気なく見ている植物ですが、最新の研究から、植物は想像を遥かに超える世界のなかで
生きていることが分かってきました。私たちには見えない土の中で行われる植物同士
のコミュニケーション、動物をも超える激しい動き、生き残るための戦略。
博覧会では、植物の世界を五感で感じ取る仕掛けを用意しま
した。植物の不思議な姿に、みなさんきっと驚くと
思います。



公式マスコットキャラクター
トウクトウ

名前について

人といろんな命が共鳴して、つながっている状態を表しています。このマスコットを通して、人間が万物への想像力や 調和の心をとりとどすことの大切さが広がってほしい、という想いを込めて名付けました。

プロフィール

はるか宇宙の彼方から、地球に憧れてやってきた好奇心いっぱいの精霊、それがトウクトウです。植物をはじめとした、この宇宙に生まれた万物の気持ちに共鳴しているので、その想いを人間に伝えてくれます。地球がきれいだとうれしくなって花を咲かせて踊ったり、地球が汚れると悲しくなって元気がなくなったりします。自然破壊・環境汚染などさまざまな課題を抱えているこの星で、人間と自然をつなぐ決意をしたキャラクターです。

性格 / ドキドキ・ワクワクすることが好き。
特技 / いろんな生きものや、ものの気持ちがわかる。
くせ / わくから外れて、飛び出そうとする。
夢 / みんなの気持ちがつながって、みんながなかよになること。

2027年国際園芸博覧会 開催概要

名 称	2027年国際園芸博覧会 International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan	開催地	神奈川県横浜市
正式略称	GREEN×EXPO 2027	開催者	公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会
テ ー マ	幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness～	開催期間	2027年3月19日(金曜日)～2027年9月26日(日曜日)
アクセス	・周辺各駅からのシャトルバスによる輸送 ・空港や主要ターミナル発着場からの直行バス ・会場外駐車場による「パーク&ライド」		

